

第18回ベイタウンまつり

今年のまつりは順延となり、中学校の体育祭とも重なったため参加者数が心配でしたが、開けて見るとその心配は無駄のようでした。日曜開催となったことで例年参加できなかった人が加わり、さらに同日行われた幕張の浜での「エアレース」観客も流れてきたこともあり、例年通りの大賑わいとなったようです。プロムナードの風景もいつも通りのベイタウンまつりの風景でした。



ヤキソバがフランクフルトに

ベイタウンまつり名物のシニアクラブのヤキソバが今年はフランクフルトに変わっていた。なんでも昨年1200食も売上げたが、もう続けるのが体力的に大変とのこと。シニアのみなさんご苦労様でした。



昨年も紹介した焼酎「Mの会」

店頭で置かれているのは一升瓶が3本だけというなんともシンプルなお店です。売られているのは幻の焼酎と言われる「森伊蔵」「村尾」「魔王」の3銘柄。なんともユニークなお店です。



ベイタウンで3世代

こちらは18番街在住のIさん(84歳)の親子孫3世代の店。娘さん2人の家族もベイタウンに住み、今ではその孫も加えて3家族3世代でベイタウンライフを楽しんでいます。うらやましい。

ベイバス恒例の「ストラックアウト」

今年も恒例のストラックアウト。この催しも歴史は古く、ベイタウンまつりの初期の頃から行われていました。ベイバスターズのみなさん、来年もお願いします。



子どもの店番



家族で出店するフリーマーケット、子どもたちにとっては初めての職業体験の場ようです。「うーん。商売するって難しい」



大人気のフリマに空きスペースが

今年のベイタウンまつりは雨のため1日延期されました。土曜日だけ休みをとってフリマに出店しようとスペースを確保したものの店を出せないという人が相当いたようで、1等地のこの区画も空いてしまったとのこと。

学生ボランティア

ベイタウンまつりでは数年前からロッテマリーンズのユニフォームを着た若い人をよく見かけます。彼らはロッテが行う学生インターシップでボランティアをしているそうです。



ひまわり会

ベイタウンのシニア女性の会「ひまわり会」は最初のベイタウンまつりから毎年手作りの手芸品やお菓子を販売しています。



同じ日に中学校では体育祭が

まつりが順延になったので打瀬中学校の体育祭とバッティング。それでも体育祭もまつりも人出は相変わらず多かった。なかには体育祭のプログラムとにらめっこしながらベイタウンまつりの会場と中学の間を自転車でも何度も行ったり来たりという人が何人もいました。



卸売り市場に入ってみよう

築地の気分を味わえる卸売り市場が、ベイトウンからクルマで10分のところに。

海浜大通りを千葉方向に走って「公園プール入口」という交差点に差し掛かると左手に「鯛とカブ」の目印が目飛び込んできます。ここは「千葉市地方卸売市場」。以前ここにイベントの買い出しに来たことがあるのですが、そのときは平日だったので水産棟に入ることができずに帰ったことがありました。最近になり「市民感謝デー」なら入れるのだと知り、今回訪ねてみました。【小原】

千葉市地方卸売市場の市民感謝デーは毎月第2、4土曜日に開催されています。時間は午前8時から正午まで（水産は10:30まで）です。今回は一番の目当てだった水産棟から入ってみました。すでに親子連れが何組もいて眺めています。店には新鮮な魚が数多く並んでいます。しかし魚の知識も経験もない私はどうさばいて料理していかかわからず、黙って見ているだけでした。ところが、「魚友魚類」というお店で何気なく写真を撮り始めたら、鱈背（いなせ）なご主人が「もっと面白いのがこっちにあるよ」と声をかけてくれたのです。それがなんとアナゴの開き。「1.8cmに切ってフライパンで焼けばOK」とのこと。その数字の細かさに驚いたら、「研究を重ねた結果」と胸を張ります。それをきっかけにご主人といろいろ話が弾みました。アウトドア活動に良い季節には「バーベキューセット」も用意されるということです。

水産棟の次は黄色い外観が特徴の関連棟です。まずは枕のような大袋いっぱいの干しシイタケが目が止まりました。ここでも

お店の方が情熱を込めて干しシイタケについて語ります。家庭用の小さい袋入りのものを購入。他にも手作りピザのお店や、手作りベーコンを置くお肉屋さんにも足が止まりました。

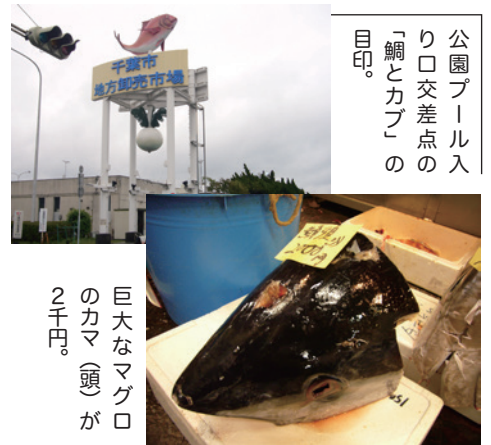
関連棟の2階には食堂もあり、新鮮な刺身丼がウリの店の前には行列が。壁には様々な産地のマグロのかたまりの写真が貼ってあり、素人にはわからないそのこだわりを感じさせられます。

家に帰って買ったものを広げると、どの品を見てもお店の人の顔が思い出されます。スーパーの買い物にはない充実感。市場での買い物は新鮮さや種類、量の多さだけではなく、プロとしての知識や食材に対する愛情をいただくのも醍醐味なのだと思わためて感じました。

今度は、冷蔵庫の中をできるだけ空っぽにして、安くて良いものをたくさん買えるよう計画を立てて行こう。季節の食材の話を一っぱい聞こう。せっかくベイトウンの近くにあるのだから活用しない手はないのだ。そう決意をして市場探訪は終わったの

でした。

ちなみに、行ったその日にはスタンプラリーなどお子さんに楽しいイベントがありました。ただ、作業用車両が走っていたり、床が濡れていたり、物が置いてあったりするので足元にはくれぐれもお気をつけ下さい。



公園プール入口交差点の「鯛とカブ」の目印。

巨大なマグロの頭が2千円。

ベイトウンでホームステイのホストファミリー

先日、マレーシアから来た中・高生32人を17家族で1泊2日で受入れる短期間のホームステイが千葉市であり、ベイトウンからも10家族がホストファミリーとして参加しました。あまり馴染みのないイスラム圏からのお客様。出してはいけない料理や言葉の問題など、どんな苦労や楽しみがあったのか。ホストファミリーを経験したマリノフォートにお住まいの小森さんにお話を伺いました。【椋山】

この日本への研修旅行はマレーシアJTBの企画で、千葉県、千葉市集客観光課と幕張ベイトウン女子部の共同で行われた事業です。

日程は5泊6日で、浅草寺訪問、東京ディズニーシー、木更津への観光を行います。うち1泊を日本の一般家庭に宿泊し、その生活を体験してもらう企画でした。これまで2014年9月、12月、2015年4月と3回実施され次回は9月頃が予定されています。

来日した学生のほとんどは日本に来るのが初めてでしたが、単なる旅行ではなく日本人達がどんな家に住み、どんな生活を過ごしているのかを実際に体験してもらいます。

4月22日（水）のホームステイ初日は案内役の方に引率されてベイトウンに到着。マンションの集会所でホストファミリーへ引渡し、各家庭で夕食を食べ、翌朝まで過ごしました。受け入れ宅の子ども達とは、ねんどで遊んだり、日本のアニメを観たり、歌を一緒に歌ったりとごく普通の



時間を過ごしました。何か特別に準備する必要もなく、普通の生活を体験してもらったそうです。

学生達は英語でのコミュニケーションはとれ、また携帯電話やタブレット端末で分からない言葉を調べたりして、事前に準備をしてきていました。子ども達は、外国人で言葉の壁があってもコミュニケーションを取る方法はあるということが体験できたようです。大人達も「自分たちのことをパパやママと呼んでくれ、息子・娘が増えた

ような気になれた」とのことでした。

翌朝の朝食が終わるとその後また全体行動にもどり、保育園での異文化交流などの催しがありました。

ホストファミリーの受け入れ条件はそれほど厳しくなく、女子でなければ特別に寝る部屋を用意せず、リビングで皆で布団で雑魚寝でも良いとのこと。一番の課題はやはり宗教上の戒律です。毎回訪れる生徒の宗教は様々ですが、今回はたまたま全員イスラム教徒の方でした。イスラム教徒という食生活上の厳しい戒律があり、基本的には豚肉とお酒が禁止されています。

日本食の中ではこの2つを注意すれば大丈夫です。小森さんのお宅では、悩んだあげく夕食にはうどんを出しましたが、うどんはマレーシアでよく食べる麺に似ていて、それがどんなものかを熱心に説明してくれたそうです。最近ではイスラムの教えで許された「健全な商品や活動」を示す「ハラール (HALAL)」認証された食品を提供するお店も増えており、比較的容易に入手することができます。

「興味はあるけれど準備が大変そう」という方がいるかもしれませんが、子ども好きなマレーシアの学生さん達なのでぜひ体験していただきたいとのこと。興味のある方は、連絡をいただければ案内するそうです。

baytownwomen@gmail.com (幕張ベイトウン女子部 担当: 中)

打瀬ベイバスターズが千葉市大会で優勝

少年野球チーム「打瀬ベイバスターズ」の6年生を中心としたチームが5月3日(日)に青葉の森公園球場で行われた春季中央大会決勝戦で優勝しました。

このチームは昨年5年生の時にも秋季大会で優勝しており、同じチームで連続しての千葉市ナンバー1になります。打瀬ベイバスターズのみなさん。おめでとうございます。



第26回ベイタウン音楽会サマーコンサート

日時：2015年6月28日(日) 11:00 開演

場所：幕張ベイタウン・コア ホール

ピアノ・チェロ・ブラスバンド・合唱などをお楽しみください。皆様のお越しをお待ちしています。

連絡先 ro.no-1117dera@nifty.com

打瀬公民館主催事業「ぱくぱくキッチンクラブ」

パンをつくろう

日時：6月13日(土) 9:30～13:00 頃

場所：幕張ベイタウン・コア 調理室

対象：小学3年生～5年生 費用：500円

申し込み期間：6月2日(火)～6月10日(水)

打瀬公民館まで直接お申し込みください。

この事業は食生活改善推進員(ヘルスメイト)がお手伝いします。

夏休みこども将棋大会 開催予告

日時：7月26日(日) 13:00～16:00

場所：地域連携センター

参加資格：ベイタウン在住の小学生

詳しくはベイタウンニュース7月号で案内します。

ベイタウンできごとろじー 2015年5月

- 5月10日 ベイタウンオーケストラ定期演奏会
- 5月10日 コアの運営を考える住民の会開催
- 5月17日 ベイタウンまつり(5月16日より順延開催)
- 5月17日 打瀬中学校体育祭
- 5月17日 幕張の浜で「エアレース」
- 5月23日 打瀬小、海浜打瀬小、美浜打瀬小が運動会

6月のコア・イベント

わくわくおはなし会 6月の常設おはなし会

日時：6月20日 第3土曜日 10:30から

場所：ベイタウン・コア講習室

予約不要 途中入場できます。

今月もわくわくするお話を用意しておまちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね!

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね** <http://waku.makusta.jp/> **

お問合せ先：chibawaku2@freeml.com

寺子屋工作ランド

「笛(ふえ)をつくろう。工作用紙でつくるかわいい笛

日時：6月27日 第4土曜日 9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア工芸室

持ってくるもの：カッターナイフ、えんぴつ、いろがみ、木工ボンド

参加費：50円(保険料)

保護者の方も参加される場合は材料費50円を負担いただければ幸いです。

第139回ファツィオリの会(コア文化振興基金後援事業)

日時：6月21日(日) 17:30～20:30

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことができます。非公開でのご利用ご希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きにきて頂くのは、自由です。

最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

※通常と異なり第3週、夜間開催となります。

申込締切：6月14日(日)

申込先：TEL&FAX 377-0020(秋場)akibakrym@yahoo.co.jp

図書館からのお知らせ

① わらべうたを楽しもう(毎月第2水曜日)

日時：6月10日(水) 午前10:00～10:30 1・2歳児と保護者

午前10:40～11:10 0歳児と保護者

場所：ベイタウン・コア 講習室

内容：体を動かしながら、わらべうたで遊びます。

当日、直接会場に来てください。

② おはなし会(毎月第4木曜日)

日時：6月25日(木)

午後 3:30～4:00 3歳児以上と保護者

午後 4:00～4:30 5歳児以上と保護者、小学生

お子さんだけでも参加できます。

場所：ベイタウン・コア 講習室

内容：3歳～ : 絵本の読み聞かせを行います。

5歳～小学生：絵本の読み聞かせとおはなし(素話)を行います。

当日、直接会場に来てください。

詳細・問い合わせ：打瀬分館 TEL 272-4646

ベイタウンニュースの配布にご協力ください

ベイタウンニュースの配布をしてくださるボランティアが不足しています。毎月1回土曜日の午前中の時間をお貸しいただければ大変助かります。

お問合せ：松村 TEL：211-6853、mazmbtn@gmail.com

私たちベイタウンニュース有志では、住民の手による第1回のベイタウンまつり（1998年）以来、昨年の第17回まで、17年に渡り、「板東屋」という名前で駄菓子屋を出店してきましたが、今年から、出店を取りやめることとしました。当初は、今年のように出店もイベントも少なく、少しでも賑やかになるように、との思いで、費用もかなり持ち出しながら出店して来ましたが、昨今の祭りの隆盛を見るにつけ、その役目も終わった、と判断しました。

当時、10円玉を握りしめ、キナコ棒や糸引き飴を買いにきてくれた子どもたちも、とうに成人し、今や社会で活躍している（場合によっては、父・母になり、子どもを連れて買いにきてくれる？）と思うと、感慨もひとしおです。これまでご愛顧頂き、誠にありがとうございました。【板東】



ベイタウンまつりで手作り感いっぱいの店を広げた「板東屋」。小さな子どもたちが10円玉数個をにぎりしめて買いに来る縁の駄菓子屋がモデルだった。

住民の手でコアを運営したい

第2回「コア運営を考える会」は5月10日午前12:00、コア裏の「センター」で行われました。今回話し合われたのは「公民館企画講座」についてです。

公民館企画講座って何だか知ってますか。そう、ときどきコアで行われている健康講座や歴史講座など、公民館が専門の講師を招いて開いているサークル活動ではない講座です。なかには小学生を対象にした料理やお菓子作りの講座もあるので知っている方もいるでしょうね。だいたい年に20回程度開かれています。

私たちが公民館の運営を住民で行いたいと申し入れて、千葉市と検討を重ねた結果、千葉市はこの公民館講座を住民が企画・運営してはどうかという提案をしてきました。具体的には、現在公民館の職員が行っている講座の企画・運営の仕事を、住民が職員さんに替わって公民館に常駐して行うことが求められています。面倒そうな仕事ですが、この仕事を行う事で住民側は「業務委託料」(?)相当のお金を千葉市から受け取ることができ、それによって公民館の施設や備品の維持を自分たちの判断で行うことができます。

では、公民館講座の企画・運営とはどんなことをするのでしょうか。例えば大学の先

生などの専門家に連絡をして、文化講座を考えてもらい当日講師になってもらって報酬を支払うという業務です。でも講座は文化講座だけでなく、工作教室や子ども向けの料理教室も行われています。仮に住民がボランティアでこんな講座を自分たちが先生になって行えば、その報酬分の費用はコアを良くするために使えそうです。

今回の考える会はこの点を会のメンバー4人が千葉市の教育委員会を訪れ、聞いてきた結果について話し合いました。結果から言えば上記のように住民がボランティアで様々な講座を行い、その費用を受け取ることは可能です。たとえばお話し会のサークルが開いている子ども向けのお話し会も公民館講座に指定することができます。また音楽サークルが一般向けに体験教室を行うことも講座になります。これなら年間20回程度の講座は比較的簡単に埋められそうです。またこんな講座は住民が自分たちで行うので、住民のニーズに合った講座が企画できます。日頃行っているサークル活動の延長で得られたお金をコアを良くすることに使えばこんないい方法はありません。

でも話はそれだけでは終わりません。仮に住民がこの業務を行うようになった場

本紙でも紹介していたベイタウン20周年記念年表が完成しました。横5m、縦1mの巨大年表です。なかにはベイタウンの20年間のあゆみが1100件もの項目として収められ、一部には写真もつけられています。

この年表を来たる

6月6日(土)、6月7日(日)の2日間。午後1:00~5:00の間でコア講習室で公開し、発表会を開催します。

当日は20年前の秘蔵動画(今はパパ、ママとなっている子どもたちが登場するラジオ体操など約10本)も上映されます。

さらに街開き当時の小中学校、コア、各団体の広報誌などの資料、そしてベイタウンニュースの創刊号から最新号まで217号のすべてをオリジナルで展示します。

ぜひ、おいでください。

発表当日は年表の他に、20年前の街の風景を撮った写真や夏祭りのビデオなども公開、さらに打瀬図書館の協力も得て街開きからの資料も多数展示します。

場所: 幕張ベイタウン・コア(打瀬公民館)講習室
日時: 6月6日(土)午後1:00~5:00、
6月7日(日)午後1:00~5:00

合、誰かが公民館に常駐してして仕事をすることになります。もちろんその費用は「給料」としてもらえるので住民がパートで働く雇用も生まれます。しかしそうすると雇用契約など労働法規の問題があり、そのためには住民側がしっかりとした組織を持ち、その組織でこれらの問題を解決することが必要です。幸いベイタウンには「ベイタウン協議会」がNPO法人として発足しており、千葉市もこの組織を窓口として交渉することを望んでいます。

今回の考える会では、公民館講座を住民が企画・運営する際の問題点の協議を千葉市と行うことをベイタウン協議会にお願いすることを確認しました。考える会は実務面については協議会にお願いし、自分たちは公民館講座にどのような講座を充てるか、また今後コアを維持しながらさらに使いやすくするにはどんなことができるかを話し合うこととなります。

コアの運営を考える会の次の会合は
日時: 6月14日(日)午後2:00より
場所: ベイタウン・コア 講習室
で開催します。

この問題に関心のあるたくさんの方の参加をお待ちします。【松村】